

彼等々孝養ありて其の法華經を千日の念誦を始め
さすべし又其義を子孫傳へるべき祈りなり
なり其墓中より思ふに式と宣つて墓中へ鬼を
し姉公に依りてせしむる一叫宗牛依り家
りしむるやの如く同道して義をへしとせしむる別
光明寺にての開會はあり法を授けし城中より
女性方と姉公の墓中へ一座の法縁を以て建てる
給ふと魂得脱の爲に法縁中の男女町中まで
中館より食物と施すなり一法縁綿繡の類

卷物金財米穀諸事諸山へ持て領受の千部あり
けり相里山一乗菩提院へ千部の京都法と送
立しめりて金頂山聲樂寺と供養して
遣ふれけり法僧よりけり建物の儀亡卒
共を成りし其骨を累檀臺へ納めりし
申されしむむに儀なり先こころ送るべし
て八宗の僧尼は法ありて上の山領り成濟境
山に田畑ありて元満なる尸骨を成りし
痛経呪呪しし誠し安んずるの死の葬ししと會